

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	木質バイオマス施設管理運営費			
担当課係名	秋田スギバイオエネルギーセンター 課	-	係	作成者 小林正人
総合計画での位置づけ	施策の大綱	森林の整備と林業の振興		総合計画のページ 65・66
	基本計画	特色ある資源を活かした産業創造のまち		
	主要施策	バイオマスエネルギーの導入		
予算費目	一般 会計	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	1 目 林業総務費
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市木質バイオマス施設条例			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	森林資源の有効利用により資源循環型社会の形成を図り、以て林業の活性化及び生活環境の向上と自然に優しい環境型林業の確立に資する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	木質バイオマス（チップ）から可燃性ガスを取り出し、ガスエンジンを駆動し得られた電気・熱を供給し、化石燃料の軽減を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	木質バイオマス施設で発生する電気・熱を介護老人保健施設にしき園、西木温泉クリオンに供給する。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績		
効果	活動指標	稼働日数	目標	日	335	
			実績	日	131	
			達成度	%	39.1%	
	成果指標	電力供給	目標	kWh	968,800	
			実績	kWh	63,051	
			達成度	%	6.5%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費（人件費を除く）(A)			39,756		
	人 件 費 (B)		—	16,958		
	職 員 数		—	2.00		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	56,714		
	財源内訳	国庫支出金			0	
		県支出金			0	
		地方債			0	
		その他			7,761	
		一般財源			48,953	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	432,931		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,906		

【事務事業の今までの成果】

平成22年度の運転成果から所定のエネルギー生産が得られなかったため、平成23年度で施工業者の負担によりシステムの一部改良工事を実施した。
よって、23年度の稼働状況、エネルギー生産は当初計画以下となっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	東日本大震災後、再生可能エネルギーへの関心が高まり、原子力、化石燃料に寄らないエネルギー変換を構築している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	森林活性化に寄与する事業であるとともに、先駆的事业に対する期待。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	東日本大震災以後再生可能エネルギーに対する意識の高まりがあり、必要性、妥当性があるものの、運転経費等が増大し効率性が悪い。 メンテナンス委託料の業務内容の検討、木質チップの安定した供給体制を再構築する。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・メンテナンス委託料の削減
メンテナンス点数を精査し、市の運転員で出来るところは実施し委託するメンテナンス点数減を図る
- ・バイオマス原料である木質チップ単価軽減を図る。
燃焼効率を上げ原料チップを安定的に受け入れることで、間伐材、林地残材の効率的に利用する。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 2	平成23年度は改善のため十分な効果を発揮できなかったが、再生可能エネルギーへの関心や期待があることから、業務内容の検討、木質チップの安定した供給体制の構築をめざし継続実施と考えます。

